

すいか (ウリ科)

月	4月			5月			6月			7月			8月			9月			10月		
旬	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
作 型	(苗購入) 定植 開花 収穫：8月上旬～9月下旬 本葉4～5枚頃 ※自家育苗の場合：は種時期は、定植予定の35～40日前で、本葉4～5枚で定植します																				

表1 主な品種

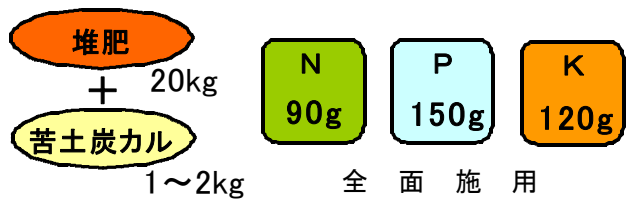
品種名	果重	果形	果皮色	果肉色	空洞果	糖度	成熟日数 (開花後)
縞王マックスRE	7～8kg	円球	濃緑	濃桃	やや少	高	40～45
マイティー21	6～8	円球	濃緑	紅赤	少	高	52～58
必勝	7～8	豊円	鮮緑	濃桃紅	少	高	45～48
祭ばやし777	6～8	豊円	濃緑	鮮紅	少	高	50～53
タヒチ	7～8	豊円	緑黒	紅赤	少	高	45～48
マダーボール	1.5～2.5	楕円形	濃緑	濃桃紅	少	高	35～38
姫甘泉	2.0～2.5	腰高形	濃緑	濃桃紅	少	高	35～38

※当地区では冷涼な気候のため、開花後の成熟日数は表より10日前後遅くなります。

1 栽培管理

①畑の準備

- 堆肥、土壌改良資材、定植床作りについてはメロンの項に準ずる。
- 定植床を早めに作り、定植時の地温（深さ10cmで16℃以上を確認）を高めることが活着を良くするコツです。

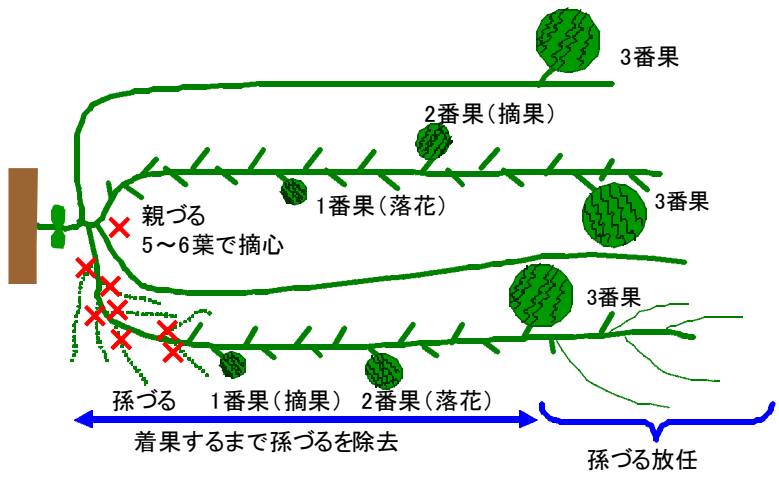


堆肥と苦土炭カルを全面施用し深く耕起しておく

畑の準備(10㎡当たり)

②定植

- 定植方法はメロンの項に準じます（定植時に根鉢を崩さない植え込みは大切な技術です）。
- 2番果、3番果取りをねらう場合には、つるが込合うので株間を広くします。子づる3～4本仕立の場合は、畦幅300cm×株間100cmです。



子づる4本仕立法

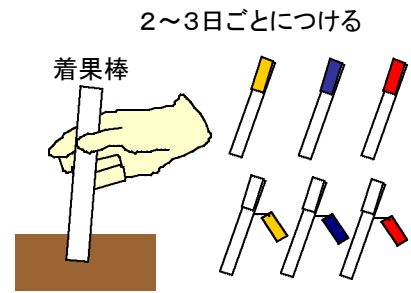
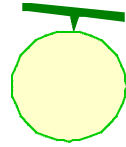
③管理

- 5月～6月は降霜の心配があるので、夜間のトンネル保温（極端に寒いときには二重のトンネルか二重被覆）により、初期生育を促進します。
- 子づる4本仕立法を右図に示します。

- ・着果節位：着果は15～20節の3番果が理想ですが、条件によっては2または4番果でも良いです。着果を確認したら（卵ぐらいの大きさ）着果棒を立て、日付を書きます（右図）。
- ・着果の良否は、開花前後の天候や栄養状態（草勢）によって左右されます。温度管理に注意して、昼間は30℃前後、夜間は16℃以上を保つようします。肥料過多により草勢が強すぎる場合には、着果は困難であるときが多いので注意します。

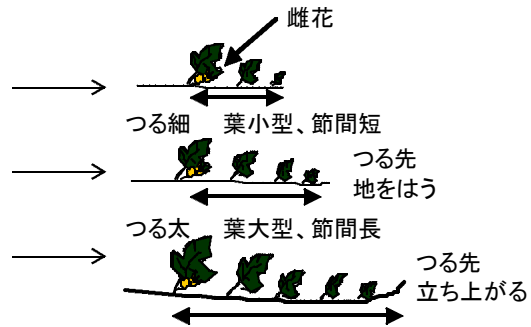
着果棒の設置

果実(鶏卵大の大きさにした頃)



草勢と雌花の開花位置

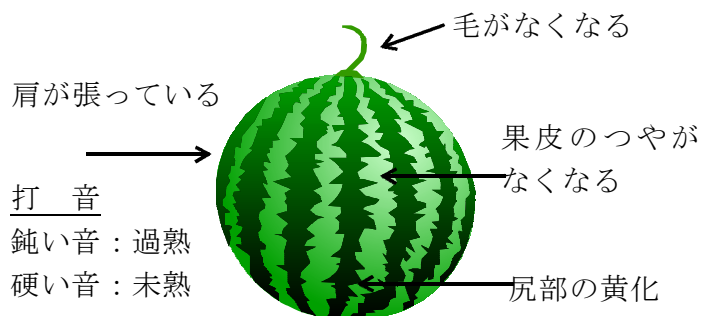
- ・草勢が弱い場合：着果良好だが肥大不良
(雌花とつる先までの長さ：25cm以下)
- ・草勢が適度：着果・肥大ともに良好
(雌花とつる先までの長さ：30～40cm)
- ・草勢が強い場合：着果はなかなか困難
(雌花とつる先までの長さ：50～60cm)



- ・人工交配（授粉）：雄しべの成熟する時刻は、普通晴天で7～8時頃、曇雨天や気温が低いと開花が遅れ、花粉の出方も遅れます。交配は晴天の午前8～9時、曇雨天や寒い日は9～11時頃に行います。花粉の発芽適温は23～27℃で、15℃以下や38℃以上では発芽困難で着果しづらくなります。
- ・着果後の管理として、トンネルは最低外気温が13℃以上になったら除去してもよいです。果実の肥大には土壌水分が必要なので、適度にかん水を行います。しかし、収穫期が近付いたら、かん水は控えめにし、水をやり過ぎないように注意します。
- ・摘果は果実が野球ボール大になったら行い、1株当たり3果採りを目標とします。低節位の着果や果形の悪いものを摘除します。低節位（元成）に着果したものは一般に果形が悪く、空洞となり、果皮も厚く、糖度も低くなります。
- ・病害は、連作するとつる割れ病、つる枯病の発生が多くなります。害虫ではアブラムシ、ハダニの発生が多いです。ハウス内の換気をよくするとともに、早期発見、早期防除に努めましょう。

2 収穫の目安

- ・品種により異なりますが、開花後40～45日で収穫期に達します。しかし、収穫適期の日数は、その年の気象条件で異なるので、外観による収穫の判断を右図に示します（右図）。
- ・収穫の遅れは、果形が悪くなり（果実の表面が凹凸してくる）、空洞化してきます。



外観による収穫の判断